



最後の贈り物

RB26DETTファンに捧ぐ HKS ZERO-Rの遺伝子

「プロショップだからこそ、より多くのユーザーに安心して乗れるGT-Rを提供したい」

偉大なる兄たちとはガラリと趣を変えた三男誕生の影には菊池良雅代表の切なる願いがあった。

平成19年式BNR32。HKSテクニカルファクトリーは我々に最高のプレゼントを用意する

文:松本奈巳(本誌) 写真:増田貴広(本誌)

取材協力:HKSテクニカルファクトリー 048-421-0508 埼玉県戸田市美女木5-2-8 <http://www.hks-tf.co.jp>



「正真正銘新車登録。
きっとみなさんに
満足してもらえます」

最後の贈り物 RB26DETTファンに捧ぐ HKS ZERO-Rの遺伝子

ひとのGT-Rファンとしてみなさんに喜んでもらえることを提供したい」と菊池代表。HKSテクニカルファクトリーはRユーザーの強い味方だ!

ZERO-Rが誕生して13年。過激なGT-Rチューニングの全盛時代に「コンプリートカー」というひとつの完成形を打ち出したHKS。自動車専門誌だけでなく新聞でも取り上げられるほど注目を浴びた。アウトバーンやニューブルクリンクでテストを重ね、話題性だけでなく確かな性能とHKSの魂が吹き込まれた特別のBNR32。当時最高の技術が投入されたマシンに憧れの念を抱いたユーザーも多いだろう。

時は流れ21世紀に突入。HKSの直営プロショップであるテクニカルファクトリーは'05、「06年と立て続けに2台のZERO-Rを復刻した。2.8ℓにVカムシステムを組み合わせ、タービンはGTR2530ツインを選択。進化したチューニングパーツを競動員して現代流にアレンジを加えたのである。

そして'07年。さらに2台のZERO-Rが産声を上げることとなつた。

「元祖や21世紀仕様に続く3台目ですか

ら「ZERO-R EDITION3」と名付けます」

過去の栄光にとらわれている訳ではない。菊池代表の信念が形になつた結果、「安心して真のチューニングを楽しんでもらいたい」のひと言に尽きる。

HKSテクニカルファクトリーは今までにもあらゆる手法でユーザーの手助けを続けてきた。GT-Rを対象にエンジンや足まわりなど100項目に及ぶ点検を施す「1日/半日ドック」には愛車に不安を抱くRオーナーが多数訪れている。さらに中古市場の現実を目の当たりにした菊池代表はプロショップ自ら程度極上のコンプリートカー販売を開始。無事故は当然、可能な限り走行2万km以内のワントナーフリーカーをベースに極ライトなチューニングを施したのだ。本誌で紹介

した3台のBNR34はすでに2代目オーナーと共に元気に走っている。

「不安のないBNR32を提供したいと突き詰めるところはあります。簡単なコンプリートカーではなく、一から作りたいと思つたんです。RB26DETTファンへ最後のプレゼントですね」

菊池代表はRをこよなく愛するひとりとして「EDITION3」製作という決断を下した。

「ベースとなるのはHKS本社に保管されていたZERO-Rです。未登録だったので完成すれば平成19年式のBNR32になりますね」

生産中止から13年にして初めて世に送り出されるBNR32。しかも当時10台限定で作られたZERO-Rだ。ノドから手が出るほど欲しい。果たして乗りこなせるのか。心配はご無用。「EDITION3は従来モデルと趣を変え、より多くのみなさんに親しんでもらいたいと考えています」

限られたユーザーが好む極端な仕様ではなく、チューニング、いやGTRに触れることすら初めてという人にも乗りこなせるマシンにするのが今回の狙い。パワー関係も従来のフルチューンから「エントリーモデル」となる。

「エンジン本体は新品ですが今までノーマルが基本。タービンも小さめで楽しいチューニングを実感していただけると思いますよ」

ノーマルといえども専門のファクトリーで調整を加えた手組み。調律されたRB26DETTが気持ちの良いサウンドを奏でるはずだ。エンジン以外にも足まわりなどにHKSを中心とした最新のパーツが取り入れられる予定。

EDITION3は仕様こそライトとはいって従来モデル同様にHKSの誇りと最高の技術を併せもつ。すでに製作は始まっている。我々のもとに新生ZERO-Rがお見えするのはもう間もなく。



ZERO-R EDITION3の生みの親となるHKSテクニカルファクトリー。チューニングメーカーの直営店として確かな技術と喜びを提供している



「ひとりのGT-Rファンとしてみなさんに喜んでもらえることを提供したい」と菊池代表。HKSテクニカルファクトリーはRユーザーの強い味方だ!



ZERO-R 2006は2.8ℓ+Vカムシステムでフルチューニングが施されていたが、エディション3はより多くのユーザー向けに2.6ℓとなる

最新スペックを纏い現代に舞い降りた怪鳥として2005、2006年と立て続けに復刻したZERO-R。もちろん現在も元気に走り続けているのだ

ZERO-Rの魂を受け継ぐ新星



エンジン製作はHKSの専門ファクトリーで行ない、その他のチューニングはすべてテクニカルファクトリーが担当。恐れることは何もない



'07年初頭より厳選したコンプリートカー販売を開始。「我々が素性的にしっかりした車両を提供しなくては!」菊池代表は使命感に燃える

